平成３０年度　政務活動報告書（１）

会派又は議員名　　新風

政務活動期間	平成３０年５月１５日～１７日（３日間）
政務活動先	島根県吉賀町、広島県尾道市・三次市、鳥取県日南町
政務活動参加者	山田　　明、山﨑　公司、佐藤　　立（３名）
政務活動項目	○子育て支援について ○空き家再生について ○子どもの室内遊び場「みよし森のポッケ」 ○議会改革、コンパクトビレッジ、地域医療について
政務活動項目に係る〈目的・結果等の概要・所見〉	別紙のとおり

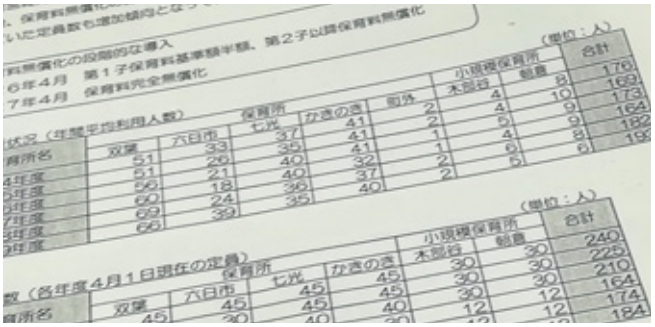
数値で現状を把握する
島根県吉賀町

なぜここへ？

○「子どもを育み、子どもと共に発展するまちを目指して」を地方創生総合戦略の基本理念に掲げている。
○出生率１.４３（当別町は１.０１）。
○出生率のほか総合戦略に掲げた数値目標の達成状況を聞きたい。

【研修データ】
研修日：2018 年 5 月 15 日
研修先：吉賀町役場
参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山﨑・佐藤

【こんな話をききました！】
○出生率が高い要因はなにか？
○総合戦略で子どもを中心に据えた理由とそれに対する町民の反応は？
○総合戦略に掲げた基本目標毎の各施策の実績と今後の展望は？
○総合戦略に掲げた数値目標の進捗状況は？



【政策の効果を具体的な数値の推移で把握】

ここがポイント

○幼児の年齢別人口推移、出生数、妊婦の出産時の年齢、多子の状況などの推移を数値で把握し、政策の効果を検証している。
○出生率を町で独自に算出して傾向を把握している。

【吉賀町議会安永議長のご挨拶】

当別町に活かします！

○過去１０年の子どもの年齢別人口を調査したところ、０歳～５歳の間で平均１０人転入し、小学生まで転入超過だが、中学生になると転出超過となることが判明。
○小学校入学時点での子どもの数に着目した政策立案の必要性について、議会で町長と議論。

遊び場で人を呼ぶ

広島県三好市（みよし森のポッケ）

なぜここへ？

○三好市は市営の子どもの室内遊び場を設置し、市内外から人気のスポットになっている。

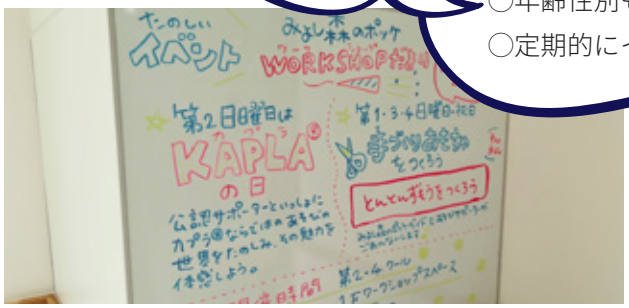
【研修データ】
研修日：2018 年 5 月 16 日
研修先：みよし森のポッケ
参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山﨑・佐藤

【こんな話をききました！】
○みよし森のポッケ設置の経緯○設計の方法（遊具などの設計、配置に対しての専門家の参画、住民の参画）
○利用状況（曜日、時間帯、居住地、誰と来場したかなど）
○開館後の市民活動との関係

【幅広い年代のボランティアスタッフが支える】

ここがポイント

○市外からも多くの親子連れが来場している。
○年齢性別も様々なボランティアスタッフが運営を支えている。
○定期的にイベントを開催している。



【多彩なイベントを開催している】

当別町に活かします！

○子どもの遊び場づくりは、定住人口・交流人口増にも効果が期待できる。
○施設の整備も大切だが、開業後の運営がより重要。例えば図書館も、施設も重要だが室の高い司書サービスが不可欠。

安さだけで選ばれない町

広島県尾道市（NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト）

なぜ
ここへ？

古くからの港町である尾道市には、車の入らない斜面地や路地裏にかつての別荘や洋館など魅力的な建物が多く残されている。しかし空き家が多く駅から半径２ｋｍ以内に 500 軒近い空き家があると推測されている。そうした空き家の再生事業を通して古い町並みの保全と次世代のコミュニティ確立を目的に活動している NPO 法人がある。

【研修データ】
研修日：2018 年 5 月 16 日
研修先：NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト
参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山﨑・佐藤

【こんな話をききました！】
〇これまでの再生プロジェクトの経緯について。
〇行政との関わり・行政に望むこと。
〇商工会議所など地元経済界との関わり・望むこと。
〇再生空き家を活用した不動産賃貸事業について。
〇市民や行政をどのように巻き込んでいったのか。

【古民家の中庭。カフェが入居している。】

ここが
ポイント

〇空き家情報はあえてインターネットには公開していない。空き家は安いが苦労もあるので、値段だけで選ばれないようにしている。
〇移住者の仕事をつくるため、ゲストハウスを開業した。

【豊田代表からご説明をいただく。】

当別町に活
かします！

〇人口増加が続いているのはスウェーデンヒルズと金沢地区。どちらも価格だけではない価値がある。「安さだけで選ばれる町」にしてはいけない。
〇単に人口増を目指すのではなく、既存のコミュニティを壊さない配慮が必要。

住民の足を確保する
鳥取県日南町

なぜここへ？

○道の駅を中心にしたコンパクトなまちづくりをすすめている。
○町営バスがコンパクトなまちづくりの重要な要素となっている。
○当別町の今後の公共施設の配置やふれあいバス運行の参考となる。

【研修データ】
研修日：2018 年 5 月 17 日
研修先：日南町役場
参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山﨑・佐藤

【こんな話をききました！】
○コンパクト・ヴィレッジにむけた取り組みについて
○公共交通（病院へのアクセス）について
○保育園から中学校までに一貫教育について
○総合戦略について

【道の駅を中心に公共交通と連動したまちづくり】

ここがポイント

○教育、福祉、医療、行政、交通など機能別にエリアを整備。
○それぞれのエリアへの移動の足を町営バスで確保。
○公共交通空白地域は NPO を設立し有償運送を実施。

【日南町役場での研修】

当別町に活かします！

○まちづくりの明確な方針を定め、住民の理解を得ることが大切。
○ふれあいバス、オンデマンドバス、有償運送、タクシー助成など様々な手段を組み合わせて住民が公共サービスにアクセスできる体制を確保することが重要。

平成３０年度　政務活動報告書（２）

会派又は議員名　　新風

政務活動期間	平成３０年１１月６日～７日（２日間）
政務活動先	函館市（株式会社　まちづくり五稜郭）、ニセコ町
政務活動参加者	山田　　明、山﨑　公司、佐藤　　立（３名）
政務活動項目	○市街地再開発（五稜郭ガーデン）について ○役場庁舎建設にむけた取組について
政務活動項目に係る〈目的・結果等の概要・所見〉	別紙のとおり

住民参画は早めが吉

ニセコ町

なぜここへ？

ニセコ町では役場庁舎新築にあたって、町民の参画を得て基本設計を策定し現在は実施設計を進めている。建設コスト削減のため床面積を１０％以上削減することとなり、この点についても設計事業者と協議を重ね町民説明会も開催した。当別町は今後、義務教育学校や役場庁舎の取り組みが必要なため最新事例を学ぶこととした。

【研修データ】
研修日：2018 年 11 月 7 日
研修先：ニセコ町役場
参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山﨑・佐藤

【こんな話をききました！】
〇役場庁舎建設に至る経緯とこれまでの取組
〇役場庁舎建設にあたって住民参画を取り入れた理由
〇役場庁舎建設にあたって行政として留意すべき点
〇プロポーザル方式による公共施設建築にあたって行政として留意すべき点
〇財源と町財政への影響

【既存庁舎となりの空き地に新築予定】

ここがポイント

〇ニセコ町では町民参画は当然やるべきことと認識されている。
〇基本設計の早い段階から住民が参加するワークショップを開催
〇町のスタイルに慣れた設計事務所との共同作業なのでスムーズ。

【担当課長から詳細の説明をいただく】

当別町に活かします！

〇公共施設のあり方を検討する際には、町民参画が不可欠。義務教育学校の新築や役場庁舎の新築（改築）にあたって、なるべく早い段階から町民参画を図る必要がある。
〇３１年度予算審査では立地適正化計画の策定にあたって町民参画の視点から議論した。

挑戦者を支えられるか？

函館市（株式会社まちづくり五稜郭）

なぜここへ？

五稜郭ガーデンは民間主導で行った市街地再開発事業。２０１５年に開業したものの苦戦が続き、今年９月にリニューアルオープンした。成功事例だけからは学ぶことができない、民間主導での再開発事業のメリット・デメリットや苦戦の経緯について、実体験を基にお話を伺いたいと考えた。

【研修データ】
研修日：2018 年 11 月 6 日
研修先：株式会社まちづくり五稜郭
参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山﨑・佐藤

【こんな話をききました！】
〇まちづくり会社設立の経緯について。
〇五稜郭ガーデン構想に対する地元商店街、商店主、住民などの反応について。
〇民間主導で再開発を行うことの利点、欠点について。
〇当初計画通りにテナントを確保できなかった原因。
〇再開発事業主として行政に求めること。

【様々なタイプの部屋がある。ここはバー】

ここがポイント

〇開業当初のテナント募集のつまづきがあとに響いた。
〇【経験談】函館市から出資を受けていれば、職員の利用など売上面でもプラスがあったのではないかと感じている。

【久保代表からご説明をいただく。】

当別町に活かします！

〇行政が出資すると時間がかかると思われている。商業振興には、民間のスピード感についていける行政になれるかが重要。
〇商業施設の立ち上げは、地域全体で利用者として支える雰囲気づくりが大切。